



# いわてまち 社協だより

97号  
2020.3月

沼宮内保育所は、いちご狩りに行き、美味しい  
いちごをみんなでいっぱい食べました!



編集と発行

## 社会福祉法人 岩手町社会福祉協議会

岩手町大字五日市10-51-1  
TEL.0195-62-3570 FAX.0195-62-1599  
●Eメール iwateow@eins.rnac.ne.jp

●ホームページ [http://iwatemachi\\_shakyo.org](http://iwatemachi_shakyo.org)

目次

- 第27回岩手町福祉作文コンクール作品紹介… 2~10
- 生活福祉資金のご紹介… 11
- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のご報告… 12~13
- 日常生活自立支援事業のご紹介… 14
- 「福祉・介護のしごと」定期出張相談室のご案内… 14
- 岩手町社会福祉協議会会費・社会を明るくする運動募金のご報告… 15
- まちの福祉・寄附のご報告… 16

この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。

# 第27回岩手町福祉作文コンクール作品紹介

育てよう 思いやりの心 助け合いの心 福祉の心

社会福祉協議会では町内の小・中・高校生を対象に、高齢者や障がい者にやさしいまちづくりを目指し、地域福祉への理解と関心を高めることを目的として、岩手町福祉作文コンクールを毎年実施しています。27回目を迎えた今年度も、学校や家庭、福祉施設での体験や、高齢者・障がい者との交流によって育まれた思いやりの心・助け合いの気持ちなど、福祉の心にあふれたたくさんの作品が寄せられました。

最優秀賞受賞作品を紹介いたします。

## 第27回岩手町福祉作文コンクール 入選作品

### 《小学校 低学年の部》（応募総数 9 点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
優秀賞	一方井小学校	1	和島詩音	わじま しおん おそらにいるおじいちゃん
佳作	沼宮内小学校	1	澤口美優	さわぐち みゆ まっついてねおばあちゃん
佳作	川口小学校	1	田屋末菜	たや みこと だいすきなおじいちゃんおばあちゃん
佳作	沼宮内小学校	1	丹治和香	たんじ のどか おはぎづくり
最優秀賞	一方井小学校	2	武田あぐり	たけだ あぐり 元気なおじいちゃんとひいおばあちゃんの思い
佳作	川口小学校	2	白旗璃々	しらはた りり おじいちゃんに本を読んでもらったよ
佳作	沼宮内小学校	2	築場桜煌	やなば はるき ひいおばあちゃんにインタビュー

### 《小学校 中学年の部》（応募総数 11 点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
佳作	沼宮内小学校	3	工藤弦汰	くどう げんた やさしい岩手町
佳作	川口小学校	3	佐藤こはね	さとう こはね ヘッドネーション
最優秀賞	一方井小学校	4	桐ヶ久保空夢	きりがくぼ せら おばあちゃんのお手伝い
優秀賞	沼宮内小学校	4	葛城ひなた	かつらぎ ひなた みんなを笑顔にする心
佳作	沼宮内小学校	4	佐藤優衣	さとう ゆい 私の考える福祉の心とは
佳作	沼宮内小学校	4	川畑颯汰	かわはた そうた こまっているみんなのために
佳作	沼宮内小学校	4	横澤紅葉	よこさわ くれば ぼくの家族

### 《小学校 高学年の部》（応募総数 11 点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
佳作	沼宮内小学校	5	北舘結菜	きただて ゆな 大好きなおばあちゃんへ
最優秀賞	一方井小学校	6	雛鶴絢香	ひなづる あやか 自分を大切にしてくれる人
優秀賞	沼宮内小学校	6	田沼悠夢	たぬま ひろむ 自分に出来る事は何か
佳作	川口小学校	6	玉山紗雪	たまやま さゆき いじめの経験から
佳作	川口小学校	6	佐藤七星	さとう ななせ ボランティアと私の関わり
佳作	沼宮内小学校	6	平松穂崇	ひらまつ ほたか いつまでも元気で
佳作	沼宮内小学校	6	佐々木麻州	ささき ましゅう 社会がよりよくなるために

### 《中学校の部》（応募総数 14 点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
佳作	一方井中学校	2	高村穂乃香	たかむら ほのか 福祉と私
最優秀賞	沼宮内中学校	3	尾形駿介	おがた しゅんすけ 人とのつながりを大切に
優秀賞	川口中学校	3	岩角夏稀	いわかど なつき 今までの成長そしてこれから
佳作	川口中学校	3	岩崎文菜	いわさき あやな 笑顔あふれる平和な令和時代に
佳作	沼宮内中学校	3	佐藤光	さとう ひかる 私が考えるボランティア
佳作	沼宮内中学校	3	佐々木亜門	ささき あもん 認知症と祖父
佳作	一方井中学校	3	三浦省吾	みつら しょうご 祖父の病気

### 《高校の部》（応募総数 4 点）

入選	学校名	学年	氏名	作品名
佳作	沼宮内高等学校	1	伊藤七星	いとう ななせ 「平等」と無意識の「差別」
最優秀賞	沼宮内高等学校	2	丹内綾夏	たんない あやか 同じ人間として
佳作	沼宮内高等学校	2	澤口剣太	さわぐち けんた 福祉に対するの考え
優秀賞	沼宮内高等学校	3	伊藤碧海	いとう まりん 臓器移植について考える

## 作品介绍

### 小学校 低学年の部

## 元気なあちゃんを ひいおばあちゃんに おじいちゃんに

一方井小学校 2年 武田<sup>たけだ</sup> あぐり

わたしのおじいちゃんとおひいおばあちゃんは、石鳥谷にいます。学校が休みになるといつも会いに行きます。二人ともとっても元気です。

おじいちゃんは、おりょうり名人です。わたしは、おじいちゃんとおせいぎゅうどんが大好きです。おじいちゃんは、あじつけを考えながらつくっていました。みんなが、いつもおいしいと言っているので、みんなのためにあじを気にしていると思います。とってもやさしいおじいちゃんです。よるごはんをたべおわったあと、よくいっしょにさんぽに行きました。あみをもつて虫とりをしたりあきやからとんでくるコウモリの話をしたりしました。石鳥谷であそ

だことも話しました。わたしの話をいっぱい聞いてくれるのでしあわせな気持ちで心があつたかくなります。

ひいおばあちゃんは、八十八才です。なのにはたけしごとをがんばっていて元気です。トマト、じゃがいも、まめ、なす、とたくさんつくっています。こしがまがつているのに、たくさんやさいをつくっていて、ひいおばあちゃんなのにありえないとびっくりしました。ひいおばあちゃんをつくったやさいは、とてもおいしいです。とくにトマトは、あまくて大好きです。ひいおばあちゃんに、「なんでがんばるの?」と聞いてみたら、

「みんながおいしいって言うてくれるからだよ。」  
とうれしそうに言いました。

おじいちゃんもひいおばあちゃんもおんなじことを思っているとしりました。みんなのためならがんばれるんだと気づきました。わたしもみんなのためになにができるか考えました。そして、いとこのめんどうを

みたりひいおばあちゃんのみめむきを手つだったりしました。おじいちゃんのごじてん車もあらいました。いえに帰るとき、

「もうちよつといてほしいな。」  
と言われました。みんなのためになつたんだなと思いました。みんなのために、つきもがんばります。



## 作品紹介

## 小学校 中学年の部

## おばあさんの仕事

一方井小学校 4年 桐ヶ久保 空夢

「コンビニは、どこですか。」

「もりおか駅の近くで、お母さんが来るのを一人でまっていた時、ぼくは、声をかけられました。ふりむくと、おばあさんでした。初めはぼくに話しているのではないと思っていましたが、そこにはぼくしかいなかったたので、自分のことだと分かりました。」

「いいですよ。いっしょに歩きましょう。」

ぼくは、そのおばあさんのペースに合わせてゆっくり歩いて、コンビニに連れていってあげました。おばあさんは、目があまり良くないようで、しかも足を引きずるようにしていました。

「何がほしいですか。」

お店に入ると、ぼくは、おばあさんがほしがっていた物を高い所からとってあげたり、レジでお金を渡してあげたりしました。おばあさんは、ぼくの顔を見て、

「ありがとうございます。」

と言ってくれました。その時、ぼくは、人を助けてあげるとは、自分もうれしくなることなんだなあと思いました。

ぼくにも、おばあさんがいます。

家の畑でたばこの葉を育てる仕事をしています。朝早くから夕方まで、暑くても寒くても外に出て一生けん命畑作業をする、ぼくの自まんのおばあさんです。ぼくが一番すごいと思うのは、朝早くに起きて、畑に行つて、たばこの葉をかって、つないで、かけてほすという作業を毎日やっているところなんです。なぜかというところ、毎朝早起きをして同じ作業をくりかえしているからです。

ぼくもおばあさんの仕事を手伝ったことがあります。たばこの葉をつなぐ作業だけでもとても疲れてし

まいました。見かけは簡単そうでも、やってみると思った以上に疲れたり大変だったりします。それをずっと続けているのだから、本当にすごいです。

ぼくのおばあさんは元気だけれども、あの時のおばあさんは、今どうしているかなと考えたりします。また面白い物したい時には、だれか手伝ってくれる人がいるといいなと思っています。

ぼくはこの話をクラスのみんなにしたら、みんなも考えてくれました。これから、周りの人にも目をむけて、こまっていたら自分たちができることをしたいと話しました。みんながえ顔でくらせるようにしたいです。



## 作品紹介

### 小学校 高学年の部

## 自分を大切にしようね

一方井小学校 6年 雛鶴 絢香

今年の二月、私はスキーに行つて顔を複雑骨折するほどの大けがをしました。半年が経ち、ここまで治るまでにたくさんの人たちの支えがあり、ありがたいと思つたし、もし会つたら「ありがとう」と伝えたいです。

事故が起こつた後、私は、ドクターヘリで病院へ運ばれました。ドクターヘリや救急車では、私のことをはげますように母や救急隊員の方々が声をかけてくれました。

病院に入ると看護師さんがベッドに横にならせてくれていてねいにかみの毛や顔を洗ってくれました。また、けがの後、初めて鏡で変わりはてた自分の顔を見てびっくりしていても、

「あやかちゃん、大丈夫だよ。きっとすぐ治るからね。」

と、言ってくれました。私は、その言葉を聞いてホッとすることができました。病院の先生方、看護師さんのおかげで手術は成功しました。

入院中や退院後、家族の優しさと気遣いをたくさん知ることになりました。姉や弟は、テレビ電話ではげましてくれたり、おかし顔の写真を送ってくれたりして私を和ませてくれました。父は私がひまにならないうようにと、本や雑誌を買ってきてくれました。母は、毎日のように病院へ来てくれました。

三週間後、家に帰って久しぶりに姉の顔を見られた時は、うれしくて泣きそうになりました。母は、かたい物がほとんど食べられない私のために工夫してご飯を作ってくれました。その味がとてもおいしかったです。私は、家族から大切にされています。私には、家族から大切にされているんだなあと思つたし、心から命があつて良かったなあと思えました。

また、クラスの友達も、私を支え

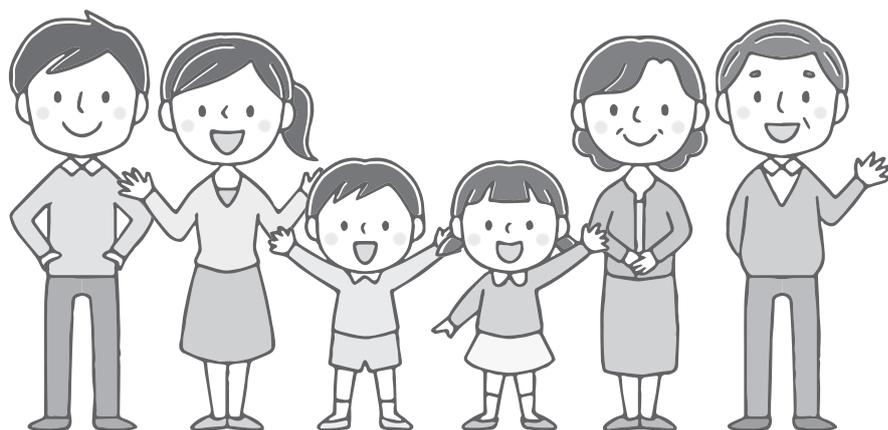
てくれました。退院して学校へ初めて行くようになった時、クラス全員で「退院おめでとう」のくす玉を作ってくれたり、歌で出むかえてくれたりしました。何人かは泣いていました。あまり動いてはいけない私に、「無理しなくていいよ。」「だいいいよ。」とフォローしてくれました。

私は、けがをして改めて、自分を大切に思つてくれている人はたくさんいるということに気がつきました。だから、今「死にたい」と思う人や、悩んで苦しんでいる人がいたら、「周りにあなたを助けてくれる人がいるよ。あなたは大切に思われているんだよ。」と、伝えたいです。

私は、けがを乗り越える中で、パワーアップできたことがあります。それは、周りの人に気を遣つて声がかげられるようになったことです。誰かがけがをしていたら、無視をしないで「だいじょうぶ。」や「保健室に一緒に行こう。」などと声をかけています。私は、お世話になった

## 作品紹介

方々に直接恩返しはできないけれど、違うだれかにこれからも優しく接していきたいです。病院の方、家族、友達が私を大切に思ってくれるように、私は周りの人達を大切にしていきたいです。



### 中学校の部

## 人ごとのつながりを大切に

沼宮内中学校 3年 尾形 駿介 おがた しゅんすけ

母とプラザあいへ「原爆と人間のパネル展」を見に行くことにしていた。連日の猛暑に、体のだるさはあったが、特別な機会だと思い玄関のドアを開けた。尻込みしてしまうほどの熱風。熱くて、足も気持ちも進まない。横断歩道を渡り、バス乗り場のロータリーの影を求めて歩いた。

その時、向こうのベンチの前に人が倒れているのが見えた。駆け寄って声を掛ける。反応がない。目は開いたまま。脈はある。頭から血を流している。とにかく、救急車を呼びに、駅の公衆電話に向かって走った。気持ち焦っていて走りながら「一一九番だよな。」と、心の中で確認しながら走った。ワンコールですぐに出た救急隊員の人の声にまた、

焦ってしまった。とにかく、場所と状況を伝えた。受話器を握りながら、バス停を振り返るとそこには、バスを待つ人が日陰を作り、扇子で仰いでいた。「血が出ている。」と叫ぶ声に、手を挙げ、伝えた都合図を送った。「岩手分署から、今、救急車が出ました。」

と、告げられ、安心感が広がる。程なく、母がこちらに向かって走ってきた。受話器をわたし、救急車の誘導に向かった。音が聞こえるのに、救急車は見えてこない。焦る。やっと見えた。信号機の前に差し掛かった救急車に向けて、大きく手を振った。早く、早く急いでくれ。そう願いながら、手を振って走った。

隊員の方と共に走る。駆け寄ると意識が戻っているが、話せない。身元が分からず、救急隊の方も、私達も困ってしまった。そこに通りすがりの方が、知り合いだと名乗り出てくださいました。

「ああ、一人で暮らしている方ですね。」

## 作品介绍

と、救急隊員の方も気づき、身元が分かり、無事に搬送された。

最後に救急隊員の方にお礼を言われたが、たくさんの方の協力で、命は救われたのだ。盛岡方面へのバスに乗って帰られた方も、ずっと、日陰を作り、扇子で仰いでおられた。そこに居合わせた方々の協力なしでは、救えなかった命。また、同じ地域で、一人暮らしをしている高齢者の方々にも気を配るといふ人と人との絆のおかげでもある。

少子高齢化が進む今、わが町岩手町に求められていることは、そのような、人が人を思いやる絆だと思う。今、私の胸には、近所の方の笑顔が浮かんでいる。私がこの沼宮内に引っ越してきたばかりのころ、近所の方に食事会に誘っていただいた。知らない人ばかりで、緊張している私に、皆さんは「いつでも遊びにおいで。」「学校は楽しい？」と話しかけてくださった。その言葉がとてもうれしく「ああ、なんて温かい人たちなんだらう、この町もいい町だ

な。」と感じた。引っ越して約一年が経ち、今でも回覧板を置きに行つたときや散歩の途中で会うといつても声をかけてくださる。いつでも、お互いを思いやり、声を掛け合うことができる。

私の祖母は、自分の住んでいる地域のことをよく知っている。小豆を煮るのが上手いのは誰なのか、体調が悪くて畑仕事ができないのは誰なのか、足を怪我したのは誰なのか。時折、食事を作り、どこかに届けに行くこともある。困っているところに駆けつけ、火事を消したり、代わりに畑を耕したりすることもあった。そして、そんな祖母を助けてくれる人もまた、多い。

祖母が見せてくれた生き方。そんな祖母のように、私も生きていきたい。この町の人々が皆、幸せに暮らせたら、うれしい。



### 高等学校の部

### 同い人間として

沼宮内高等学校 2年 丹内 綾夏 たんない あやか

皆さんは、障がいについてどのくらい理解をしていますか。私は、知的障害のある方と接するボランティア活動をしました。私の通う学校には年に一回全校でボランティア活動を行っています。今年は、中山の園という障害者支援施設に行きました。この支援施設には、知的障害のある方が入所したり、生活介護を受けたりしています。

ところで、知的障害という言葉を知っていますか。知的障害とは、十八歳までの発達期に生じる知的発達の遅れにより、社会生活に適応する能力に制限がある状態のことです。知的障害の判断基準は、知的能力の発達の程度と、適応能力の状態の両方を見て判断されます。知的能力は

## 作品紹介

主に読み書きや計算を行ったり、物事を理解し、考え、判断する思考能力のことで知能検査によって測られます。また、適応能力は主に集団のルールを守ったり、集団の中での自分の役割を果たしたり、他人と良好な関係を築くなどの能力のことです。したがって、知能指数（IQ）が七十以下で、適応能力に制限がある状態であり、かつ、これらの症状が発達期に現れていると知的障害である可能性が考えられるそうです。

まず最初にワークなかやまという施設にボランティアをしに行きました。ワークなかやまは、就労継続支援を行っています。これは、通常の事業所で働くことが困難な人に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動機会の提供、知識や能力向上のための訓練のことです。私は、フルータッキャップ作りのボランティアをしました。最初は形がきれいにできなかったけれどだんだんと作るペースも上がり、形もきれいに作ることができました。ここで働く方と話をし

てみたかったけれど緊張して話すことができなかったことを後悔しています。しかし、間近で障がい者の方が一生懸命に働いている姿を見て、私も困難なことも継続して一生懸命に取り組みたいと思いました。

次につつじという施設に行きました。ここは、施設入所支援を行っているところです。五つの施設に分けられて、入所する方に入浴や排せつ、食事の介護などを行っています。私が一番驚いたことは、入所している方のほとんどがおじいちゃん、おばあちゃんだったことです。現在の中山の園は施設の老朽化と利用者の高齢化が問題になっているそうです。とくに施設の老朽化の課題は早く解決してほしいと思いました。私が一番印象に残っているのは、一人の若い女性の方です。その方は、私のところに笑顔で近づいて来てくれました。施設の中に入る前は、誰かと話したりできるかなと不安に思っていたけれどその方のおかげで緊張も解け私も笑顔になることができました。

た。また、その方にハンドマッサージをしてあげました。すごく喜んでもらえたことがとてもうれしかったです。その方とは会話はできなかったけれどスキンシップと笑顔で伝えることができました。

今回のボランティア活動に参加して思ったことは、一人ひとりに得意なことがちゃんとあるなと思いました。例えば、笑顔が素敵な方、字を書くことが好きな方、物作りが上手な方など障がいがあっても私たちと変わらない一面があります。だから、普通の人と違うからと差別するとう考え方なくなつてほしいなと思いました。また、私は、自分の得意なことを考えたときにすぐ思いつきませんでした。なので、私も自信を持って言える得意なことを見つけたと思います。

また、ボランティア活動を通して学んだことは、障がい者の方との接し方です。例えば、同じ目線の高さにする、スキンシップをとる、笑顔で話しかけるなど障がい者の方が不

## 作品介绍

安に思わない態度を取ることが大切だと分かりました。もし、町を歩いているときに障がい者の方が困っていたり、危険なことが起こりそうだと思ったら今回の経験を活かし柔軟に対応したいと思います。

最後に世の中が障がいのある方と普通の人と差別する考え方を改善してほしいと思います。ヘレン・ケラーは「はじめはとても難しいことも、続けていけば簡単になります。」と言いました。人ははじめから何でも完璧にこなすことはできません。誰かに教わることで一つ一つ身に付けていきます。障がい者も同様に時間がかかるかもしれないが、継続することのできるようになることが増えていきます。私たちが思った以上に障がい者の方は何倍もの努力をしているはずです。同じ世界に生まれ、同じ人間として生きているのだから、差別をするのではなく、理解し、障がい者の努力を見習うべきだと私は考えます。



## 講評 「福祉の心」が確実に育っています

「福祉の心とは、誰に対しても優しさを配れる強さのこと」と概括的に定義した方もいますが、貴方はどう考えますか。

「福祉の心とは、どのようなものだと思いますか。」と問うと、返ってくる回答は一般的に次の二つに集約されるようです。

① 思いやり。相手の状況を感覚的に理解し、相手を気遣い行動したくなるような誰もが持っている心的徳性。

② 支え合い。献身とか自己犠牲といった発想ではなく、お互い様、共に生きていくという人間尊重の考え方。

改めて「福祉の心」を定義づけようと試みると、優しさや他者への気配りという意味を含む表現になりそうです。が、簡明に表現することは難しいものです。大体のニュアンスは共有できても、その広さや深さは人によって異なるからです。社会福祉の現場で働く方々の困難さや過酷さを知ると、なおさら美的言葉だけでは言い表せない深刻な課題が今も多く横たわっていることに気づかされます。

そんな中、「第二十七回岩手町福祉作文コンクール」に各小中高校から、たくさん応募してくれています。子供たちなりに体験を通して心が動いたことを素直に文章にしています。それが結果的に「福祉の心」と相通ずる優しさを文面に表れています。特に低中学年の作品からは家族を思う強さを再認識させられました。「一家仁一国興仁、一家讓一国興讓」(二宮金次郎像が手にする本『大学』)の通りの家庭の温かさも伝わってきます。小学高学年から中学高校と学年が進むにしたがって、視野が広がり現代的課題について真摯な考察を深めている作品もありました。子供たちの感性は鋭く、独特な視点と表現意欲には素晴らし

いものがあります。体験したことを書くことで様々自分の考えを深めています。どの作品も読み手の心を揺さぶります。

子供たちを導き作品を仕上げるまで丁寧に指導された各校の先生方のご労苦に敬意と感謝の思いでいっぱいであります。

ここ数年印象的な事は、原稿用紙に書かれてある文字が極めて丁寧なことです。一文字一文字思いを込めて記してくれた作品であると受け止めました。さらに、序論・本論・結論の文章構成に配慮し、考えが整理されていることも伝わってきました。欲を言えば、結論の部分を簡単には括らないで欲しいなと思いましたが。字数制限がありがたかなか難しいことではあります。

今や岩手町の福祉教育は定着し、福祉体験学習や訪問交流学習は恒例化しています。指導者は何度も経験していますが、学ぶ子供たちにとっては新鮮な体験です。ですから、大人こそ、範となる新鮮な繰り返しを根気強く為し、学びの場を提供し続けたいものであります。

この入選作品集の一つ一つから、岩手町の素直で真面目で一所懸命な子供たちの姿に触れていただきたいです。素敵な子供たちが育っています。多くの子供たちに「福祉の心」が培われています。岩手町の児童生徒に福祉の心を育む機会を提供くださっているご家族の皆様、地域の方々、指導された学校の先生方、そして、社会福祉協議会等の関係機関の皆様方に心より感謝申し上げます。

〈審査委員長〉

岩手町教育長 平澤 勝郎



## 生活福祉資金貸付制度とは

他の貸付制度が利用できない、低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、国と県が資金を出し合い、民生委員や市町村社会福祉協議会が窓口となって生活援助指導を基に無利子や低利子で資金貸付を行うものです。

## ご利用いただける世帯

- **低所得世帯**  
世帯の収入がおおむね市町村民税非課税程度。または生活保護法に基づく生活扶助基準の1.7倍程度
- **障がい者世帯**  
身体障がい者世帯、知的障がい者世帯、精神障がい者世帯
- **高齢者世帯**  
65歳以上の高齢者の属する世帯で、その世帯の所得が、おおむね生活扶助基準の2.3倍程度（高齢者を含む4人世帯でおおむね年収600万円程度）以下の世帯（注：福祉資金については、「日常生活上介護を必要とする状態」にあることが必要）
- **生活保護世帯**  
生活保護を受けている世帯

## 利用にあたって…

- **連帯保証人（一部、連帯保証人なしで借りられる資金もございます）**  
原則として県内に居住する65歳以下の方で、借受世帯の償還困難時には債務を履行することができる方。  
日頃から熱心に相談援助してくれる方で、申込人よりも収入の多い方。

### • 利子・返済方法

貸付利子は「年1.5%」（一部、無利子の資金もございます）で、預貯金口座からの自動引き落としとなります。

償還期限内に償還完了できない場合は、残元金に「年10.75%」の延滞利子が発生します。

### • 民生委員児童委員

この資金は生活の安定や立て直しを図ることを目的としていますので、申込時から償還完了まで、担当の民生委員が支援、相談にあたります。

### • 注意

資金の種類によっては、利用できない世帯もございます。制度の詳細な内容については、社会福祉協議会まで問い合わせ下さい。

## 貸付資金の種類

### • 総合支援資金

失業や収入の減少により、世帯の生活の維持ができなくなった等、生活の立て直しのための貸付資金です。

### • 福祉資金

福祉機器の購入や、商売・結婚・出産・葬儀・引越・住宅改修等の経費、または日常生活上一時的に必要な経費等お貸しするものです。

### • 緊急小口資金

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となる場合の貸付資金です。

### • 教育支援資金

高校・大学・短大・専門学校等への就学に際し、入学金や制服等の就学経費と、授業料や通学定期代等の修学経費の貸付資金です。

### • 不動産担保型生活資金

今お住まいの居住用不動産を担保に生活資金をお貸しするものです。

生活福祉資金に関する  
相談・申し込み・問い合わせは…

岩手県社会福祉協議会  
TEL019-637-4440

または

岩手町社会福祉協議会  
TEL62-3570

所在地：岩手町大字五日市 10-51-1



# 赤い羽根共同募金

みなさまからたくさんの募金にご協力を頂きました。

## ◆戸別募金（一般募金・歳末募金）

（単位：円）

地 区	世帯数	一般募金	歳末募金	地 区	世帯数	一般募金	歳末募金	地 区	世帯数	一般募金	歳末募金
前ヶ沢	17	15,300	3,400	田中・栄小路	52	46,800	10,400	下黒内	45	40,500	9,000
吉谷地	6	5,400	1,200	上大町	33	29,700	6,600	葉木田	46	41,400	9,200
御堂新田	15	13,500	3,000	下大町	69	62,100	13,800	今松	53	47,700	10,600
御堂	36	32,400	7,200	上野口町	47	42,300	9,400	上鴨沢	51	45,900	10,200
水堀	30	27,000	6,000	下野口町	35	31,500	7,000	下鴨沢	32	28,800	6,400
小山沢	12	10,800	2,400	上愛宕下	49	44,100	9,800	上浮島	23	20,700	4,600
朽木林	20	18,000	4,000	新愛宕下	69	62,100	13,800	下浮島	80	72,000	16,000
北上	6	5,400	1,200	下愛宕下	104	93,600	20,800	岩崎	30	27,000	6,000
上横沢	22	19,800	4,400	江刈内	52	46,800	10,400	沼袋	19	17,100	3,800
下横沢	21	18,900	4,200	石神	86	77,400	17,200	子抱	20	18,000	4,000
尾呂部	60	54,000	12,000	上苗代沢	46	41,400	9,200	芦田内	34	30,600	6,800
川原木	52	46,800	10,400	下苗代沢1	46	41,400	9,200	野原	78	70,200	15,600
笈の口	20	18,000	4,000	下苗代沢2	47	42,300	9,400	雪浦	54	48,600	10,800
豊岡	30	27,000	6,000	駅前	24	21,600	4,800	橋場	145	130,500	29,000
大坊	80	72,000	16,000	犬袋	123	110,700	24,600	上町	34	30,600	6,800
岩瀬張	36	32,400	7,200	子抱団地	14	12,600	2,800	駅通	113	101,700	22,600
曲り	8	7,200	1,600	細沢	42	37,800	8,400	下町・山道	86	77,400	17,200
一本柳・白椏・ 日ノ神子	42	37,800	8,400	太田	54	48,600	10,800	境田・二ツ森	175	157,500	35,000
下屋敷・膝突・ 葉の木・上平	40	36,000	8,000	横田	93	83,700	18,600	秋浦・高梨	34	30,600	6,800
小金沢・ 大金沢	16	14,400	3,200	半在家	16	14,400	3,200	土滝・雨滝	8	7,200	1,600
相寅瀬・ 万部・落葉	44	39,600	8,800	久保・落合	56	50,400	11,200	子九十	15	13,500	3,000
大平	8	7,200	1,600	新田	43	38,700	8,600	大渡・遠中沢	25	22,500	5,000
上・下五日市	225	202,500	45,000	土川	53	47,700	10,600	太布	13	11,700	2,600
新町・城山	134	120,600	26,800	大森	25	22,500	5,000	水無	25	22,500	5,000
民部田	130	117,000	26,000	一方井	105	94,500	21,000	丸泉寺	11	9,900	2,200
柳橋	36	32,400	7,200	中田	29	26,100	5,700	穀蔵	4	3,600	800
館	113	101,700	22,600	黒石	66	59,400	13,200				
				大股	11	9,900	2,200				
				上黒内	22	19,800	4,400				
								合計	4,023	3,620,700	804,500

## みなさまの募金が様々な地域福祉事業に役立てられています

岩手県共同募金会岩手町共同募金委員会（会長 藤原徳明）では、令和元年10月1日から12月31日の赤い羽根共同募金運動月間中に、一般募金と歳末たすけあい募金を行い、町内各世帯を始め、学校、病院、職場、個人や団体等たくさんの方々からご協力をいただきました。

募金の総額は、一般募金が3,885,599円、歳末たすけあい募金が804,500円でした。

一般募金については、町内で活動する福祉団体やボランティアに関する事業、福祉教育に関する事業、歩行困難な高齢者や障がいのある方のための外出支援サービスや理美容サービスなど、岩手町の地域福祉事業等に役立てられます。

歳末たすけあい募金の使い道については、義援金の配分報告をご覧ください。

みなさまの善意が地域を支えています。たくさんのご協力に心から感謝いたします。

### ◆職域募金

(単位:円)

職場名	一般募金
盛岡中央消防署岩手支部	2,100
佐渡医院	10,000
ケアホーム川口	10,046
(株)高橋建設	5,000
岩手罐詰(株) 岩手町工場	5,000
塚谷医院	10,153
あんずの里	20,000
佐藤建設	1,660
佐藤整形外科クリニック	3,413
医療法人 佐々木医院	3,022

(単位:円)

職場名	一般募金
岩手トヨペット(株) 沼宮内支店	594
森のアーリーナ(自動販売機)	11,026
医療法人 明恵会	10,750
ふるさと振興公社	981
外山商店	4,621
沼宮内郵便局	1,926
東北銀行沼宮内支店	100
JA 新いわて岩手支所	1,581
岩手町中央公民館	467
沼宮内歯科医院	10,000

(単位:円)

職場名	一般募金
北日本銀行沼宮内支店	101
西館保険サービス(有)	5,010
ジョイス沼宮内店	587
岩手町役場	16,130
岩手町社協	3,113
宮崎商店	5,000
ベルプラス(株) 沼宮内店	1,687
職域募金合計金額	144,068

### ◆学校募金

(単位:円)

学校名	一般募金
岩手県立沼宮内高等学校	6,115
岩手町立川口中学校	3,363
岩手町立一方井中学校	6,610
岩手町立川口小学校	2,104
岩手町立一方井小学校	3,935
学校募金金額	22,127

### ◆興行募金

(単位:円)

募金者名	一般募金
南山形地区文化祭実行委員会	45,600
北山形地区文化祭実行委員会	19,701
産業まつり街頭募金	33,391
興行募金金額	98,692

### ◆募金合計

(単位:円)

一般募金合計額	3,885,599
歳末たすけあい募金合計額	804,500
赤い羽根共同募金合計額	4,690,099

### ◆その他募金

(単位:円)

募金者名	一般募金
預金利息	12

## 歳末たすけあい募金

### 地域歳末 たすけあい運動

地域歳末たすけあい運動は、「みんなでささえあう、あったかい地域づくり」がスローガンです。

町内の要保護世帯や在宅でねたきり等の高齢者や重度障がい者等を対象に、歳末たすけあい義援金として、歳末たすけあい募金を配分しております。

みなさまからのご協力に感謝いたします。

# 義援金配分の報告

配分対象及び経費	配分額
要保護世帯 112 件 要保護世帯人員 211 名	435,000 円
準要保護世帯 35 件 準要保護世帯人員 64 名	134,000 円
在宅ねたきり・認知症高齢者 7 名	49,000 円
在宅重度障がい児・者 20 名	140,000 円
合計	758,000 円

## 日常生活自立支援事業がお手伝いします。

毎日の暮らしの中にはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをして、あなたが安心して暮らせるようにサポートします。

利用できるのは、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方や、お金の管理に困っている方などです。例えば、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方が対象になります。

財布や通帳を置き忘れる。  
支払いや手続きが不安だなあ



### どんなサービスがありますか？

- 福祉サービスについての情報提供
- 日常的な金銭管理サービス
- 福祉サービスの利用手続きサービス
- 苦情解決制度の利用サービス
- 福祉サービスの利用料などの支払いサービス
- 書類などの預かりサービス



岩手町社会福祉協議会にご相談ください。(電話 62-3570)

### 県社協からのお知らせ

## 「福祉・介護のしごとと定期出張相談会」開催

**【日時・場所】** 毎月第3水曜日 10時～11時30分  
 祝日の場合は翌週の水曜日となります。  
 また、都合により日程が変更になることがありますので、電話確認の上、ご来所ください。

ハローワーク沼宮内 2階

**【内 容】** 福祉や介護の仕事に関心のある方へ求職登録や求人、資格取得など就職についての相談に専門の相談員が個別に対応します。事前予約不要ですが予約がある場合は予約を優先します。  
 (相談無料・服装自由・履歴書不要)

**【連絡先】** 岩手県福祉人材センター 電話 019-601-7062

社会福祉協議会費（1世帯800円）・社会を明るくする運動募金（1世帯100円）

# ご協力ありがとうございました

## まちの福祉のために大切にに使わせていただきます

◎下記のとおり報告いたします（行政区ごと）

●一般社費

（単位：円）

地 区	世帯数	金 額	地 区	世帯数	金 額	地 区	世帯数	金 額
前ヶ沢	17	15,300	上大町	33	29,700	下黒内	45	40,500
吉谷地	6	5,400	下大町	68	61,200	葉木田	46	41,400
御堂新田	15	13,500	上野口町	48	43,200	今 松	53	47,700
御 堂	36	32,400	下野口町	36	32,400	上嶋沢	51	45,900
水 堀	31	27,900	上愛宕下	47	42,300	下嶋沢	32	28,800
小山沢	12	10,800	新愛宕下	73	65,700	上浮島	23	20,700
朽木林	20	18,000	下愛宕下	106	95,400	下浮島	80	72,000
北 上	6	5,400	江刈内	52	46,800	岩 崎	31	27,900
上横沢	22	19,800	石 神	88	79,200	沼 袋	19	17,100
下横沢	21	18,900	上苗代沢	43	38,700	子 抱	20	18,000
尾呂部	59	53,100	下苗代沢1	50	45,000	芦田内	34	30,600
川原木	52	46,800	下苗代沢2	45	40,500	野 原	78	70,200
笈の口	20	18,000	駅 前	17	15,300	雪 浦	54	48,600
豊 岡	30	27,000	犬 袋	122	109,800	橋 場	145	130,500
大 坊	84	75,600	子抱団地	14	12,600	上 町	35	31,500
岩瀬張	36	32,400	細 沢	42	37,800	駅 通	114	102,600
曲 り	8	7,200	太 田	54	48,600	下町・山道	86	77,400
一本柳・白栂・日ノ神子	42	37,800	横 田	93	83,700	境田・二ツ森	163	146,000
下屋敷・膝突・葉の木・上平	40	36,000	半在家	17	15,300	高梨・秋浦	34	30,600
小金沢・大金沢	16	14,400	久保・落合	56	50,400	土滝・雨滝	8	7,200
相寅瀬・万部・落葉	44	39,600	新 田	43	38,700	子九十	15	13,500
大 平	8	7,200	土 川	53	47,700	大渡・遠中沢	25	22,500
上・下五日市	225	202,500	大 森	23	20,700	太 布	13	11,700
城山・新町	135	121,500	一方井	105	94,500	水 無	25	22,500
民部田	127	114,300	中 田	32	28,800	丸泉寺	11	9,900
柳 橋	37	33,300	黒 石	66	59,400	穀 蔵	4	3,600
館	113	101,700	大 股	11	9,900	合 計	4,015	3,612,800
田中・栄小路	50	45,000	上黒内	22	19,800			

### 社会福祉協議会費は…

1世帯  
800円のご協力

地域福祉ネットワーク事業、高齢者福祉サービス、福祉団体等の育成、子育て支援、ボランティア活動支援、福祉教育の推進等、社会福祉協議会が実施する様々な福祉活動の運営費に充てられます。

誰もが、住み慣れた町で安心して過ごせるよう、住民参加による生涯現役の福祉のまちづくりを目指し、地域に寄り添った事業を展開してまいります。

### 社会を明るくする

### 運動募金は…

1世帯  
100円のご協力

岩手地区（岩手町・八幡平市・葛巻町）保護司会の活動資金に充てられます。

保護司は、犯罪や非行に陥った人の更生を支援するとともに、地域の犯罪・非行の予防を図る活動を無償で行なっている民間ボランティアです。保護司の活動に協力する主旨の募金です。



# まちの福祉

～福祉に関する情報コーナー～

## 合同会員交流会を開催

町身体障がい者協議会（久慈聖己会長）と、町手をつなぐ会（瀬川正春会長）では、令和元年10月11日に合同で会員交流会を開催しました。今回の交流会は、三陸鉄道に乗り、久慈駅から田野畑駅の間を往復しました。町身体障がい者協議会と町手をつなぐ会では会員を募集しています。気軽に事務局までお問い合わせください。



## クリスマス会を開催

町手をつなぐ会（瀬川正春会長）では、令和元年12月22日にクリスマス会を開催しました。今回は八幡平ハイツで温泉と昼食を楽しみながら会員同士の交流を図りました。



## 一方井公民館で特殊詐欺被害防止講座

令和2年2月12日、一方井公民館を会場に岩手県金融広報アドバイザーの三浦早苗氏を講師に招き特殊詐欺被害防止講座が開催されました。一方井地区の友愛事業として40人の参加があり、クイズや劇などで特殊詐欺について学びました。



## 子育てサロンで郷土料理づくり

子育てサロン「すくすく」では、令和2年1月23日、町保健センターで郷土料理づくりを行いました。町食生活改善推進員の皆さんに郷土料理の「かぼちゃけつこ」と「がんづき」の作り方を教わり、みんなで美味しくいただきました。毎月様々な行事を行っていますので気軽にご参加ください。



## ご寄附いただいた方の紹介

寄附者名・寄附団体名 【令和2年1月18日～令和2年2月29日受付分】

- 田中 忠一 様 ..... 切手 7,950 円分
- みちのくコカ・コーラボトリング(株) 西根営業所 様 ... 959 円
- (故) 田中 ナカ子 様 ..... 100,000 円
- 匿名 様 ..... 雑巾 107 枚

